〒764-8502
香川県仲多度郡多度津町南鴨
200番地1
代表TEL／0877-33-2221

https://www.yonkei.co.jp/recruit/

●設立　1951年12月
●社長　取締役社長 寺井 昇二
●資本金　4億8000万円
●社員数　800名
●基本給　大学院了：月給237,400円
大学卒：月給230,000円
諸手当:別途支給（通勤手当、時間外手当、子ども手当など）
昇給:年1回（4月）、賞与:年2回（6月·12月）

●休日休暇　完全週休2日制（土日）・国民の祝日・年末年始（12月29日～1月3日）・創立記念日（5月1日）・年次有給休暇（20日）・特別休暇（夏期休暇3日など）
●福利厚生　◆法定福利厚生：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険　◆法定外福利厚生：独身寮および借り上げ社宅・慶弔見舞金・財形貯蓄制度・持株制度・退職金制度・確定拠出年金制度・カフェテリアプラン・育児休職・介護休職

▶インターンシップの受入れ／要相談
▶大学生アルバイトの受入れ／不可
▶採用担当者連絡先／
住所／香川県高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー28階
担当部署／組織人事部 浦山
採用担当者連絡先／070-8712-6724
mail／ jinji@yonkei.co.jp

【四国電力グループ】
四国計測工業株式会社

製造事業（計器・産業事業・電力事業）/エネルギー・環境事業（原子力・電気計装）

電力関連を主軸に付加価値の高い技術でダイナミックな事業展開

四国電力グループの一員として1951年に事業をスタートさせた四国計測工業（寺井昇二社長）。電力量計の修理調整から始まり、発電所の電気計装設備の設計・施工・保守や、電力会社向けシステム装置の設計・製造へと順次業容を拡大。近年では再生可能エネルギー制御システムを多くの電力会社に納入するなど、電力供給システム全般に重要なサービスを提供しています。

その一方で、多様な産業分野からのニーズに応えるオーダーメイドのモノづくりにも注力。産業用メカトロニクス機器の設計・製造においては、培った計測・制御技術に加えて研究開発部門から生まれた画像処理・マイクロ波応用技術など得意とする技術をふんだんに生かし、医療・食品などの業界向けに自動化・省力化製品の提供も行っています。

創造性の高い製品を生み出してきた背景には、それぞれのスペシャリストが飽くなき戦いを続けてきたという歴史が。その情熱は現在のエンジニアにも受け継がれており、新規事業の探索と既存事業の深掘を両輪とした「両利きの経営」のもと、さらなる成長を目指します。

挑戦を後押しする環境で若手が活躍できる

労働環境の整備にも余念がない同社。2021年に女性活躍推進に取り組む企業として「えるぼし」認定（最高位・三つ星）、2022年には次世代育成支援法に基づく優良企業の証である「くるみん認定」、また、2023年には「健康経営優良法人」にも認定され、これらの各種認定を現在まで継続して維持しながら、より働きやすい環境整備に取り組んでいます。

また、部署・年齢を問わず挑戦やアイデアを評価する提案制度があり、実際に従業員のひらめきから実現した製品も。自分たちでゼロから創って事業として成立させる文化も定着。その一つがクラフトビールです。自社の食品熟成装置を活用し、ホップを熟成させたらどんなビールができるだろう、というアイディアから独自ビールを醸造。県内イベントや小売店で好評を得ています。

新しいことを生み出し世の中に発信していくためにも、若い力と新しい発想力が必要です。求めるのは、広くアンテナを張り、いち早く社会のトレンドや有用な情報をつかむこと、また常に新たなことを学び成長しようとする姿勢。そして社会人としての信頼を大切にできる人材です。成長の機会とキャリアを拓くための環境、チャレンジを後押しする体制が整う同社で、「こんな仕事をやってみたい」という夢を叶えませんか。

YONKEI
コンセプトムービーはこちら

働く環境や制度面等様々な取り組みを行っています。

健康経営
体力測定や運動会、ポイント人間ドックなど、従業員が健康で幸せに長く働ける取り組みを推進しています。

Creative Space
テーマカラーを用いた創造性向上空間（休憩室・立ち会議室）では、会議の効率化やアイデア・イノベーションの創出を図っています。

充実の研修プログラム
技術力やビジネススキルの向上、キャリア開発を全社共通の教育体系の軸とし、研修やeラーニング、資格取得などを通じて、従業員の自律的な成長を支援しています。

製造事業本部　電力事業部
電力システム部　設計第二課
宮﨑 昌也さん（2016年入社）

これまでの貴重な経験を生かしシステム設計の第一人者に

自分の経験値を上げたいと思っていた私にとって、さまざまなことに携わらせてもらえる社風がとても魅力的でした。入社1・2年目には水道施設制御更新工事の設計を担当。初めて使うCADソフトに戸惑いましたが、セミナーに参加したり先輩に聞いたりしてなんとか克服。それ以上に、自分が設計した製品が実際現場に設置されたのを目にして喜びを感じたものです。

その後3年目にはダムの自動制御装置取替、4年目には入構手続き効率化システム、翌年には持込物品管理システムなど毎年違った設計を担当することに。これはまれなケースだそうですが、早い段階でいろんな経験をさせてもらえてラッキーだったと感じています。現在は四国内のダム関連の設計に加え水位計の取り替えなどさまざまな設計を同時進行しているため、スピーディーさと正確さを極めたいですね。これまでの経験をもとにさらに広く深い知識を習得して技術の幅を広げ、システムの改善や次期システムを提案・構築できるシステム設計の第一人者を目指します。

エネルギー・環境事業部
エンジニアリング部　工事課
石川 翔斗さん（2021年入社）

やりがいと達成感を励みにステップアップを目指す

高校時代に取得した電気工事士の資格を生かしたいとの思いで入社を決めました。現在は、主にダム監視制御装置の現地据付工事を担当し、工事全体の品質や進捗などを管理する施工管理業務を行っています。最初は先輩に同行するスタイルでしたが、今では一人で任されることも。見て・覚えて・実践していくうち、ようやく自分なりのやり方を見つけられたところです。一つの現場が滞りなく終わった時の達成感はひとしお。ただし現場ごとに細かな違いがあるため、事前の調査など下準備を怠らないよう心掛けています。

自由な社風、風通しの良さも当社の魅力の一つ。上司や先輩との距離感も近く、質問や相談にはいつも親身になって答えてくれます。もちろん休日や福利厚生も充実していて、休みの日にはバイク仲間とツーリングを楽しむなどプライベートも満喫しています。安心して働ける環境だからこそ、仕事にも力が入るというもの。直近の目標は実務経験を積んで施工管理士の資格を取得し、さらに仕事の幅を広げていくことです。

経営戦略本部　マーケティング開発部
営業開発課
副長 羽野 智也さん（2006年入社）

新規事業の立ち上げをけん引できる存在でありたい

四電グループというブランド感&安心感で入社しましたが、20年目となる今もその思いは変わっていません。現在の担当業務は新規事業の開発。ゼロベースで新しいことを立ち上げるに当たっての市場調査・企画立案・開発・リリースといった一連の業務に携わっています。一昨年の春、立ち上げを担当していた新規事業をリリース。現在はその拡販のため全力を注いでいるところです。

振り返れば、入社後の3年間はソフトウェア担当で苦戦続き。しかし未知の領域を制覇できたことで自身の成長を実感し、さらなるやる気につながりました。その後は全国の電力会社をターゲットにした新規事業の拡大に携わり、充実感・達成感だけでなくフィールド的にも一気に広がったものです。今後はそこで培ったノウハウや基礎力を仕組み化していき、より社内を活性化させどんどん新しいことが生み出せるような会社に変えていきたいと思っています。それを実現させるためにも、パッションを持った人を待っています。